

令和6年度 第1回 藤沢市地域福祉計画推進委員会 議 事 要 旨

I. 開催概要

1. 日 時 2024年（令和6年）6月11日（火）14時01分～16時26分

2. 会 場 藤沢市役所 本庁舎8階 8-1・2会議室

3. 出席者

（1）委員＝21名

・会場出席者

石渡 和実、松永 文和、奥田 吉昭、杉山 雅子、戸高 洋充、
濱田 登美、木村 依子、小山 八千代、吉田 厚治、山口 燿子、
橋本 良子、川辺 克郎、浅野 朝子、澁谷 晴子、村上 尚、
板原 直枝、児玉 文卿、津島 徹、松沢 邦芳、沼田 純子

4. 議 題

1. 開 会

（1）委員長・副委員長の選出

【資料1】藤沢市地域福祉計画推進委員会設置要綱

2. 議 題

（1）藤沢市地域福祉計画2026・今年度のスケジュールについて

【資料2】地域福祉・地域福祉計画について

【資料3】今年度スケジュール

（2）地域福祉シンポジウムについて

【資料4】「シンポジウム」実施概要（案）

【資料5】委員への協力依頼事項について

【資料6】取組シート

（3）その他について

【資料7】重層的支援体制整備事業実施計画（令和5年度実施報告）

【資料8】重層的支援体制整備事業実施計画の検証について

【資料9】重層的支援体制整備事業実施計画の改定案について

5. 閉 会

II. 会議の概要（議事要旨）

1. 開 会

事務局、石渡委員長、澁谷副委員長より挨拶があり、委員の自己紹介の後、議事に入った。

2. 議 題

（１）地域福祉・地域福祉計画、今年度のスケジュールについて

《資料２、３に基づいて事務局 鎌田（実）より説明》

○浅野委員

１９日は公民館まつりと重なるが、どれだけ地域住民が来るのか疑問に思う。

○事務局

公民館まつりと重なるかもしれないことは想定していた。委員に当日何かお願いするという想定をしていないが、シンポジウムの状況を動画にし、後日確認できることがあれば等検討させていただければと思う。

○澁谷副委員

新しく孤独・孤立の防止が加わったということだが、施策の展開では、計画内ではもう少し具体性がないといけないのではないかとと思う。

○事務局

次期計画策定に向けては、今後皆様のご意見をいただきながら施策の展開の部分などについて工夫をしながら設定していきたいと思う。

○末吉委員

説明資料の計画変更点の中に第二期成年後見計画と記載があるが計画のどこに記載しているのか。

○石渡委員長

正式名称は、第二期成年後見制度利用促進計画になります。

○事務局

表現が足らなかった部分があると思うので、次期計画策定に向けて皆様のご意見をいただきながら設定をしていきたいと思う。

(2) 地域福祉シンポジウムについて

《資料4～6に基づいて事務局 飯田、鎌田より説明》

○松永委員

委員が参加しづらいことを前提にこの委員会の中でシンポジウムの企画に関する内容を議題として取り上げることとはどうなのか。再考していただきたい。

○松沢委員

パネラーの人数についてはどのくらいで考えているのか。そのほかは松永委員の意見と同様。

○澁谷委員

計画委員の出席できる人数が少ないことは問題だと思う。

○石渡委員長

日程や企画そのものを再検討したほうがいいのではという意見が多いと思うが、事務局はいかがか。

○事務局

日程等含めて再度検討して提示できればと思う。

○浅野委員

シンポジウム自体は計画して、計画委員の皆様が行っている取組をPRできればいいのではないか。

○濱田委員

行事をやるためだけの計画、やらなきゃいけないことをやるためだけの計画になってしまうのではないかという恐れを感じた。

○事務局

進め方について反省をしている。今回のシンポジウムに関しては会場等の状況によっては、この委員会と切り離して行っていくことも含めて検討をし、改めて報告したいと思う。

○石渡委員長

このシンポジウムは10月19日にこの企画でやるというのは一つ決定。そして地域福祉計画の委員会としてどういうシンポジウムを持つかについては新たに検討して実現を目指すという二つ。関連シンポジウムがあるという理解でよろしいか。

○事務局

地域福祉計画の位置づけとは切り離れたとしても、孤独・孤立についての周知啓発は必要だと思っている。事務局主催の市としてシンポジウムを進めさせていただければと考えている。

4. 閉 会

以 上